

応援奨学生に関するアンケート結果（令和4年度）

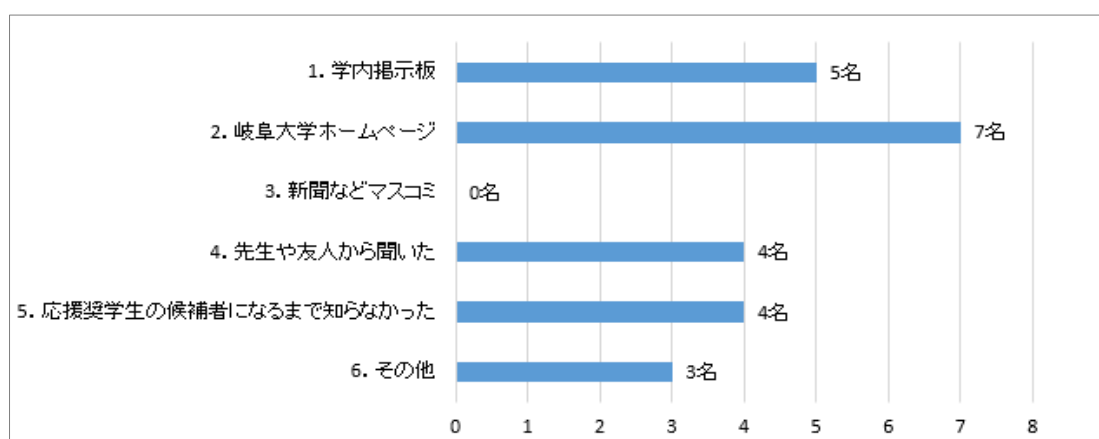
「応援奨学生」制度は、平成22年度から学生支援事業として、人物及び学業成績において優れ、他の学生の模範となるような学生に奨学金を支給することで、学業を応援し、優れた人材を育成することを目的に開始されました。

今回は、令和4年度に応援奨学生として奨学金を受給された23名の方を対象に、今後の参考とするために実施したアンケート結果です。

回答者数23名

1 「岐阜大学基金」の広報についてお伺いします。

Q. 「岐阜大学基金」についてはどのような形でお知りになりましたか？（複数回答有）



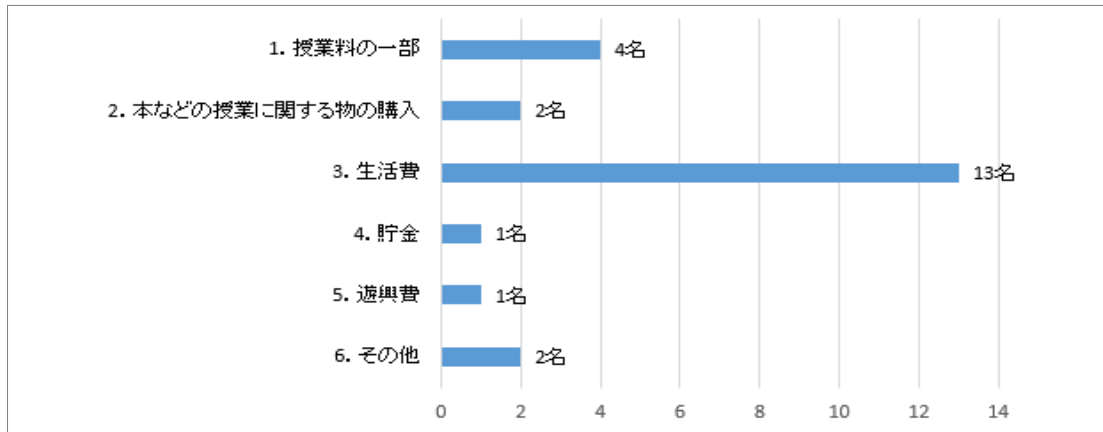
- その他 学務情報システムからの連絡
学部のガイダンスで配布されたチラシ

Q. どういった告知形式を取れば、学生への認知を広めることができると思われますか？

- 前後期のガイダンスや入学時の説明会。
申請時期前から知れると希望する人にとってはかなりのモチベーションになる。
- 年度末にホームページにて先々に告知を行う。
- 学科のTeamsや学年LINE、メールまたはTwitterなどのSNSでの告知。
- 告知をした際、応募方法や支援内容等を詳細に伝えると、認知度が上がると思います。
- 学内掲示や授業、ゼミ（教員）での告知を行われればと思います。
- 奨学生公募の際に、公募用紙に基金について明記する。
- 学内掲示板をより多くの場所に設置して告知する。

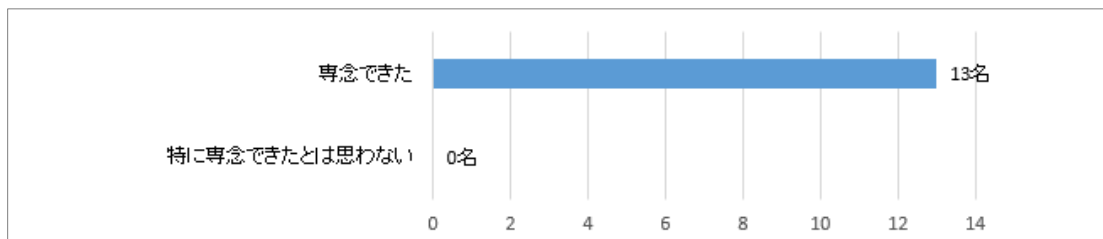
2 奨学金の使途や学業への影響についてお伺いします。

(1) 主な使途について



・その他 実習の交通費・宿泊費

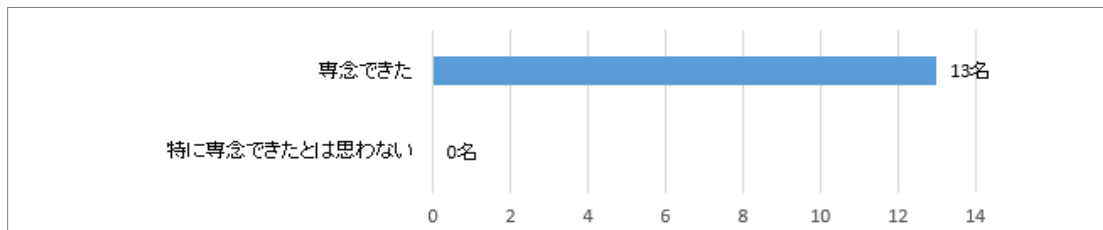
(2) 授業料や授業に関する物の購入に使用することで、給付前よりも学業に専念することができましたか？



専念できた理由

- ・給付金のおかげでアルバイトを減らし、学業や研究に専念することができました。
- ・専門書を購入することができ、知識や理解を深めることができた。

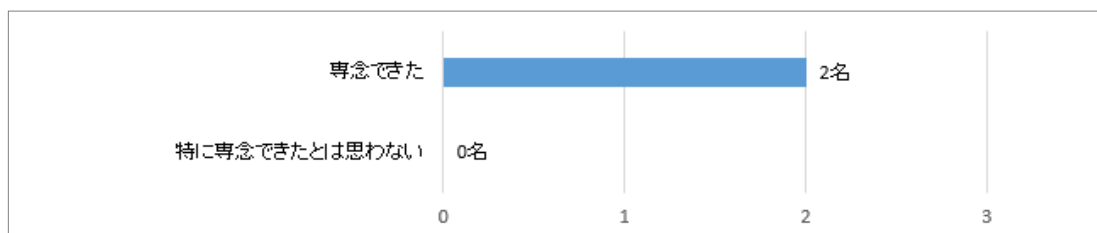
(3) 生活費に使用することで、給付前よりも学業に専念することができましたか？



専念できた理由

- ・市民や行政、企業と連携したまちづくりの活動にも積極的に参加することができた。
- ・アルバイトを必要最低限にでき、研究や自己研鑽・就活の時間を確保できた。
- ・生活費のことについて心配しなくてもよくなった。

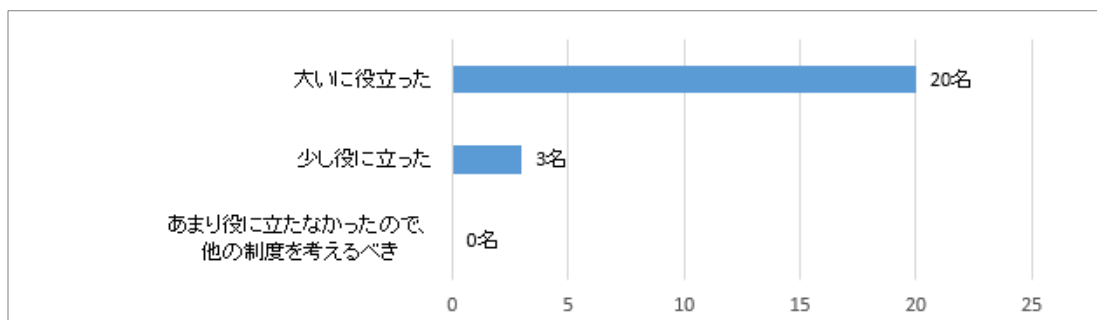
(4) 学業以外の用途に使用されましたが、給付前よりも学業に専念することができましたか？



専念できた理由

- ・実習に集中して臨むことができた。
- ・学業外で交友関係を深めることができる時間とお金を得ることができた。

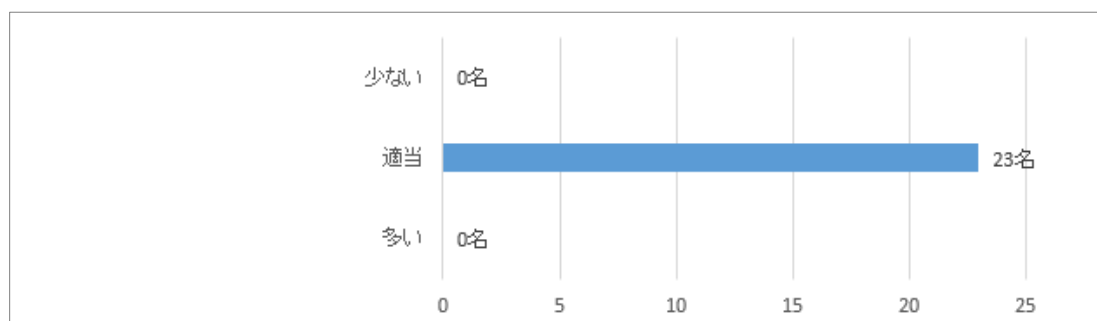
3. 奨学金の給付は、大学生活を有意義に過ごすために役立ったと思いますか？



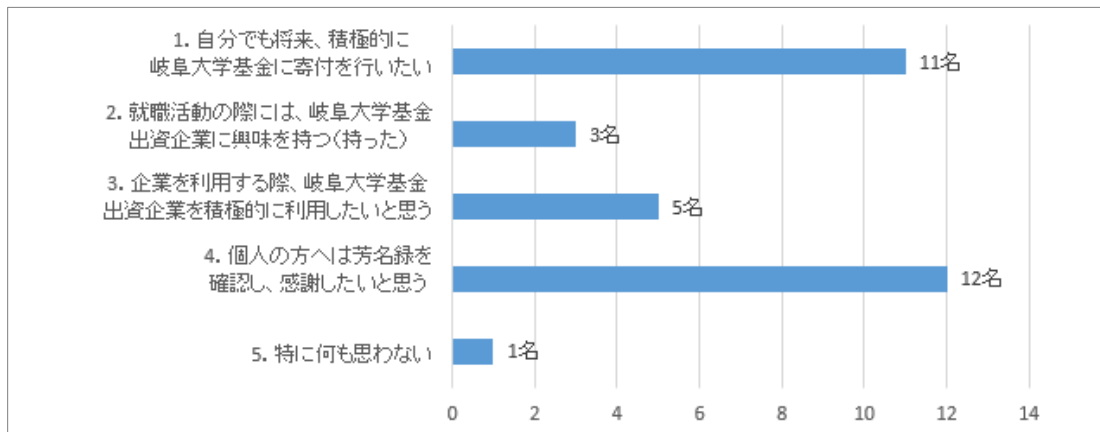
4. 奨学金の給付額についてお伺いします。

学部学生
大学院研究科修士課程・教職大学院
大学院研究科博士課程

月額 30,000円
月額 30,000円
月額 50,000円



5. 「岐阜大学基金」は多くの団体、個人、本学の卒業生や教職員からの寄附金で成り立っています。このことについてどう思われますか？（複数回答有）



6. 今後の「応援奨学生」制度への要望、アイデア等があれば是非お聞かせください。（自由記述）

- ・私が在学中に取り組むことのできなかった内容なのですが、高校生への資産形成授業の義務化、NISA 拡充などの社会環境の変化を見聞きする中で、ただお金を受け取るだけでなく、それをどのように活用すべきか、学ぶ機会が欲しいと感じました。私のように「貯金しただけ」という人が、より有効な活用ができるような仕組みを併設すると、よりよい奨学金制度になるのではないかと思います。これは、岐阜大学が掲げる地域貢献という観点において、生涯学習を行い地域へ還元するために必要な勉強資金を、長期的に確保するという点でも有効であると考えます。
- ・より多くの人にこの奨学金の存在を知ってもらいたいと思う。
- ・岐阜大学院に進学する岐阜大学生にも応募する資格があれば良いなと思った。毎月の在籍確認をオンラインで行えるとさらに良いなと思った。
- ・寄付をして頂いた個人や企業の方々、受給者が直接顔を合わせる機会があっても良いのではと思います。そうすることで、受給者からの感謝の意を直接伝えられるとともに、より奨学生としての自覚を得られ、意味のある制度であることを互いに実感できると思います。
- ・給付できる人数を増やすべきだと思う。
- ・基金出資企業との交流会等があれば、応援奨学生としての自覚がより一層もつことができると思う。
- ・「奨学金＝親の収入が関係する」と思って諦めている学生もいるとおもうので、応援奨学金制度の認知度が広まったら助かる人が増えると思います。
- ・給付期間を1年から2年に延長することを提案します。
- ・応援奨学生への学費について、経済状況を問わずに免除あるいは減額もご考慮いただきたい。
- ・もし、留学生を対象とするのであれば、願書には英語か日本語を選択できるようにすれば、この奨学金はもっと注目されるのではないのでしょうか。確かに、奨学金に応募するときは、日本語ができることはプラスになります。しかし、日本語を勉強する時間があまりない学生もいます。特に博士課程の学生は、一年目から既に忙しく、奨学金ももらえないので、より多くの時間をアルバイトに費やさなければなりません。
- ・私自身、月々の奨学金に生活を支えていただき、とても素敵な取り組みだと思っています。ですが、この制度を知る友人は少なく、認知度の低さが目立ちます。ガイダンスの際に制度の存在はもちろん、どのようにしてこの応援奨学金が成立しているのか、といった背景までも説明していただければ、より多くの岐大生がこの制度の存在を認知し、また卒業後は寄付者として関わろうと考えてくれるのではないかと感じました。

7. 後輩給付生へのアドバイスをお聞かせください。（自由記述）

- ・ 寄付金からこの制度は成り立っていることをよくよく理解し、感謝の気持ちを忘れずに自分の資質や能力の更なる向上のために有意義に利用してほしい。
- ・ 研究や勉強に打ち込むことができるのは大学生の特権であると思うので奨学金を大いに活用して、今まで以上に熱心に勉学に取り組んでください。
- ・ 奨学金を受け取ったことに満足するのではなく、更なる高みを目指して学んでいってもらえると良いのではないかと思います。また、受け取った奨学金は長期的な視野を持って活用してほしいと思います。
- ・ 一緒に感謝し、一緒によりよい社会を創っていけたら嬉しいです。
- ・ 給付金を活用して、学業も含めた大学生活より充実してほしいと思います。
- ・ この奨学金は、多くの方々の支えによって成り立っている基金のため、どのような用途であれ感謝の気持ちを忘れず、将来の自分のために利用し、有意義な時間を過ごしてほしいです。
- ・ 岐阜大学基金はいろいろな方のご協力があるものです。その一部をいただいていることを自覚して有意義な学生生活を過ごしてください。
- ・ 毎月3万円をもらえることで、アルバイト以外の時間をつくることができます。貴重な大学生活をアルバイトだけに充てるのも何かもったいない気がしますので、活用してみると良いのではないのでしょうか。
- ・ たくさんの方々の寄付のもとに成り立っている制度であることを自覚し、より有意義な大学生活を送ってください。
- ・ 多くの方の援助のお陰で、このような給付金の制度が成り立っています。そのことをしっかりと理解し、大学での勉学に励んでください。
- ・ もし学業に専念したければ、ぜひ応援奨学金を申請してみてください。
- ・ 何事も積極的に挑戦していると、必ず何かにつながると思います。機会を見逃さず頑張ってください。
- ・ 大学院で研究にかけられることのできる時間は思っているより少ないです。このような奨学金を活用して、有意義な時間の使い方をしましょう。
- ・ 応援奨学生に選ばれるくらいの実績を作り、有意義な大学生活を送ってください。
- ・ 本奨学金を活用し、これまで以上に勉学や就活に取り組む時間が増えると思うので、充実した学生生活にしてください。
- ・ 岐阜大学にこのような素晴らしい制度があることを、ぜひ知ってください。
- ・ 寄付者への最高の贈り物は、一生懸命働くことです。将来、就職して困っている学生を助けることも考えてください。
- ・ 各所属を代表する学生として、より一層自己研鑽に努めていただきたいと思います。
- ・ 応援奨学生に選ばれたことを誇りに思い、慢心せずにその後の学生生活をより良いものにしてほしい。
- ・ 勉学を頑張ることで、応援奨学金が頂くことができ、そのお金でより勉学に励むことができる素晴らしい制度なので、ぜひ有効に活用してほしいです。
- ・ もしあなたが留学生で、日本語が十分でないために奨学金を受ける資格があるか悩んでいるなら、心配しないでください！努力を続けてください。失敗するのは当たり前です。私は何度も失敗しましたが、決してあきらめませんでした。あなたが最善を尽くすならば、すぐにあなたはより良くなり、あなたが最善を尽くすなら、すぐにあなたはどんどん良くなり、ついにはあなたはあなたが望んでいることを手に入れる価値があるでしょう。
- ・ 寄附者の方々がいらっやあってこそこの応援奨学金制度であることを胸に、充実した一年間を過ごして欲しいと考えています。小さなことでもいいので、やりたいと思ったこと、やるべきだと感じたことにはどんどん挑戦してください。
- ・ いただいたお金は、多くの有志の方が投資されたお金であるので、学業に関わることに用いるとともに、そのような方々に感謝して大学生活を送ってください。

8 応援奨学生の給付を受けたことについての感想をお聞かせください。（自由記述）

- ・1年間、本当にありがとうございました。金銭的な面はもちろんのこと、このように「岐阜大学基金」を通して、私たち学生を支援していただいているという事実が勉学の励みになり、心理的な面でも支えていただいていると感じています。このような温かく力強い支援を受けることができるとても光栄です。多くの人や団体に支えていただいたことを忘れず、自分にできることを考え、手を差し伸べることのできる社会人になります。ありがとうございました。
- ・応援奨学金のおかげで外国でのフィールドワークを実現することができました。大学生でありながら海外で研究できたことは、自分にとっても研究としても大きな躍進となったと思います。ありがとうございました。
- ・ご寄付いただいた皆様、誠にありがとうございました。岐阜大学を卒業してからも卒業生としての自覚を持って生涯学習に励み、地域社会に貢献できるよう努めて参ります。
- ・この度は応援奨学生に選んでいただき、多大な支援をいただき、本当にありがとうございました。要領が悪く同じことをするにも人より数倍の時間がかかってしまう私にとって奨学金によって得られた時間は大変貴重でした。おかげさまでただ試験に追われこなす勉強にしたり、医学を目的化したりすることなく、医学を通じた人や地域全体の幸せ、より良い社会のために学ぶことができました。平々凡々な自分にもったいない支援でしたが、いち早く地域に貢献できる医師となり、支援してくださった方々に還元できるようより一層励もうと思います。
- ・今年度、給付金をいただけたことで時間の成約を受けることなく充実した大学生活を送ることができました。学業に限らず学友との貴重な交流を過ごせたのは寄附していただいた皆様のおかげです。ありがとうございました。
- ・4年生から研究活動が始まり、忙しい日々を送っていたので、このような機会をいただき大変感謝しています。この奨学金のおかげで大学生活のみならず、余暇も大変充実したものになりました。感謝の気持ちを忘れず、これからも大学生活、研究活動に精進していきます。
- ・ご支援のおかげで研究や自己研鑽の時間を確保でき、有意義な一年間を過ごすことができました。ご寄付をいただいた皆様に感謝申し上げます。
- ・今年度、給付を受けさせてもらって、学業に専念する時間を増やすことができただけでなく、親の経済的負担も減らすことができました。寄附者の皆様には心より感謝申し上げます。
- ・今年度は、研究や勉強が今まで以上に忙しくなることが予想されていたため、生活のためのアルバイトとの両立に不安を感じていました。そんな時に応援奨学生として支援していただけることが決まり、この一年間アルバイトにかかる時間を勉強や研究に回すことができました。そのため精神的にも余裕が生まれ、今まで以上に、学業に専念することができました。自分のキャリアに関わる大事な1年間に、このように支援して頂けたことに大変感謝しております。
- ・このような機会をいただき、ありがとうございました。この制度のお陰で、アルバイトの負担が減り、より勉学に集中して取り組むことができました。
- ・大学院生では、研究や学会、就職活動に追われ、アルバイトをする時間が少ないです。これを機に、奨学金を申請することを決めました。奨学生として採用が決まった後、無事に就職活動においても内定をもらい、修論の準備においても十分な時間をかけることができました。応援奨学金の給付を受けていただき心より感謝を申し上げます。
- ・応援していただき、安心して学ぶことができました。高価な専門書を購入することもでき、知識や理解も深まりました。感謝申し上げます。
- ・応援奨学金の給付を受けたことで、アルバイトを減らすことができました。研究に取り組む時間を増やすことができ、多くの学会にも参加することができました。この奨学金のおかげで、大学院での研究生生活を有意義なものにできました。この奨学金の受給において、お世話になったすべての方々にも心より感謝いたします。
- ・応援奨学生に選んでいただき、誠にありがとうございました。奨学金のおかげで精神的、経済的に余裕が生まれ有意義な大学生活を過ごすことができました。今後も本制度が続くことを期待しております。

- 毎月3万円を支援して頂いたことで、1人暮らしの生活費の負担が減り、研究に集中することができました。奨学金のおかげで有意義な一年間を過ごせました。ありがとうございました。
- 奨学金は、学びたい人にとって、本当に、本当に、欠かせないものです。経済的事情によって、学ぶ道（進学）を諦める人は、たくさんいます。実際、私も学部を卒業した後、金銭的理由で修士への進学を諦めていました。修士学生の初めのころは、給付奨学金を受けることができるとっておらず、修士では、貯金を崩しながら生活する覚悟でした。けれど、奨学金制度のおかげで、本当に充実した研究生生活を送ることが出来ました。このように応援してくれる方々がいることに励まされ、私は博士進学を決意しました。今後も、さまざまな方の良心に支えられながら、研究を続けて参りたいと思います。
- 奨学金には大変感謝しています。働きながら勉強する自分や家族にとって、とても役立ちました。
- この度、応援奨学金の給付を受けたことにより、より学業に専念する環境を整えることができました。卒業後は、私も本事業に貢献したいと考えております。ご支援・ご協力いただけましたことに感謝申し上げます。
- 応援奨学生に選ばれたことで、研究生生活に集中できました。寄付して下さった皆様に感謝いたします。
- 大学4年生になり、卒論に向けて忙しくなる中で、応援奨学金のおかげで、アルバイトの時間を減らすことができ大変助かりました。ありがとうございました。
- この奨学金を受ける前、自分自身をうまく管理することができず、いつも寝不足で、疲れがとれません。この奨学金は、私が勉強に集中するためにとても役に立ちました。また、英語のサークル、セミナー、無料のオンラインコースなど、自分の将来やキャリアに役立つ知識や実験を得るために、より多くの時間を費やすことができました。
- 私の夢は動物園の飼育員として働くことですが、そのためには様々な動物園で実習を行うこと、また動物園を始めとする博物館へ見学に行き、見聞を広げることが必要でした。実家からの仕送りも最低限に留めていたため、学業やアルバイトがあることを踏まえると、本来一番やりたいことのはずの実習は金銭的・時間的に大きな負担でした。しかし、この応援奨学生に選んでいただいたからは、毎月3万円の給付金をいただけただけのため、それらを実習費用にあてることで、大学内での学業に専念し、実習前後も金銭面で不安になることはなくなりました。この一年間、大学の講義そして動物園の実習で得た知識や経験は何者にも代え難い貴重な財産です。寄附者の皆様のお陰で、大変充実した一年間を過ごすことが出来ました。本当にありがとうございます。
- この1年間、奨学金を給付していただけたおかげで、有意義に大学生活を送ることができました。本当にありがとうございました。